

関西における航空ネットワークの展望と課題について



2012年10月26日

日本航空株式会社

常務執行役員 経営企画本部長

大貫哲也

第1章: JALグループの成長戦略について

- 1-1. JALグループ中期経営計画について
- 1-2. 競争力改善による収入最大化について
- 1-3. JALグループの国内線航空ネットワークについて

第2章: 関西地区におけるJALグループの航空ネットワークについて

- 2-1. JALグループ保有機材について
- 2-2. リージョナルジェット機について
- 2-3. リージョナルジェット機の活用の実例について
- 2-4. JALグループの関西地区からの航空ネットワークについて
- 2-5. リージョナルジェット機の活用に向けた課題について

第1章

JALグループの成長戦略について

高収益体制を確立し、新たな成長のステージへの飛躍を目指します。
JALグループはフルサービスをご提供するネットワークキャリアとして、安全運航を基盤とし、お客さまに最高のサービスを提供し、企業価値を高めて社会の進歩発展に貢献します。

競争に勝ち抜くために (3つの差別化)

- JALブランドの追求
 - 「伝統」「革新」「日本のこころ」
- アライアンスを活用した路線ネットワーク・商品・サービス
 - 国際線中長距離路(欧米・東南アジア)にリソースを集中的投入
- コスト競争力の維持・向上

重要な取り組み課題 (5つの取り組み)

- 安全を守る取り組み
- 路線ネットワーク
- 商品・サービス
- グループマネジメント
- 人財育成

経営目標 (3つの目標)

- 安全運航を堅持
- 2016年度までに「顧客満足No.1」を達成
- 5年連続営業利益率10%以上、2016年度末自己資本比率50%以上を達成

路線ネットワークについて

規模拡大のみを追うことなく、路線ごとの採算性を十分に見極めた上で、継続して路線の見直しを行うことで、日本国内、そして日本と世界を結ぶ利便性の高いネットワークを構築していく。

【国内線における基本方針】

メインマーケットである羽田・伊丹の環境変化に的確に対応し、需要適合を図りつつ収益性の維持と向上を図る。

大阪国際空港（伊丹）発着路線

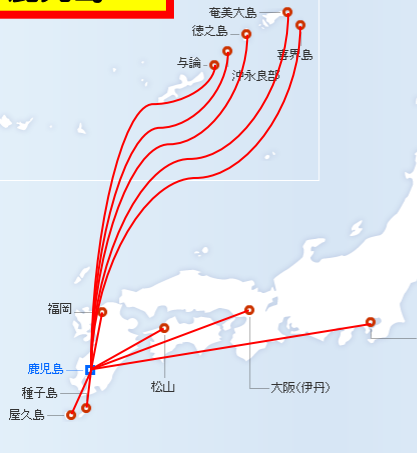
⇒発着枠等の有効活用による伊丹路線の更なる展開を推進し、利便性向上を図る。

地方路線

⇒リージョナルジェット機の活用により、新規路線展開を図る。

グループ航空会社の総力をあげて、首都圏空港以外にも国内線航空ネットワークを構築することで、お客さまの利便性向上と各地域の発展に寄与するとともに、ローコストキャリアでは乗入れが難しい空港・地域における国内線需要の取り込みを図る。

鹿児島



運航会社

- JAL
- JEX
- JAC
- JTA

札幌(新千歳)



運航会社

- JAL
- JEX
- J-AIR

大阪(伊丹)



運航会社

- JAL
- JEX
- J-AIR
- JTA
- JAC

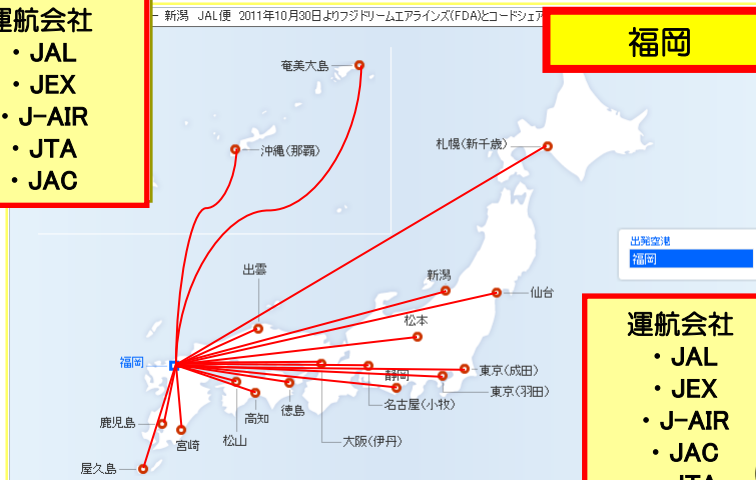
沖縄(那覇)



運航会社

- JAL
- JTA
- RAC

福岡



運航会社

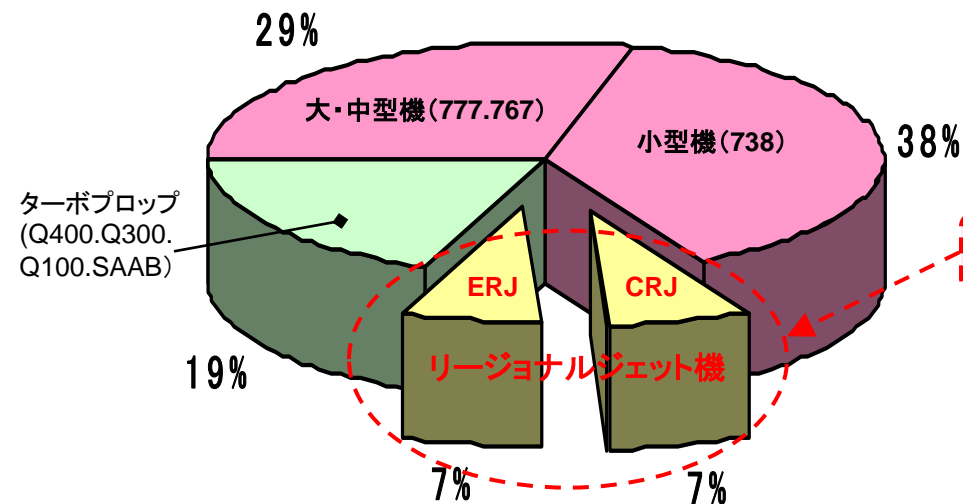
- JAL
- JEX
- J-AIR
- JAC
- JTA

第2章

関西地区におけるJALグループの航空ネットワークについて

JALグループの国内線保有機材について

「JALグループ(国内線)保有機材比率 2012年9月時点」



国内線を運航するJALグループ航空会社

会社名	主な運航機材 ()内は席数
日本航空 (JAL)	777 (380)、767 (260)、737-800 (160)
JALエクスプレス (JEX)	737-800 (160)
ジェイ・エア (J-AIR)	ERJ (76)、CRJ (50)
日本トランスオーシャン航空 (JTA)	737-400 (150)
日本エアコミューター (JAC)	Q400 (74)、SAAB (36)
琉球エアコミューター (RAC)	Q300 (50)、Q100 (39)

リージョナルジェット機 (ERJ、CRJ) は国内線保有機材の14%を占める戦略機材である。

リージョナルジェット機(RJ機)について

概ね50～100席を備えた小型のジェット機。

大型、中型のジェット機よりも低騒音で、離発着に必要な滑走路の長さも短いという特徴をもつ。

「日本の航空会社が運航しているリージョナルジェット機」

航空機メーカー	機種	座席数	運航会社
ボンバルディア (カナダ)	CRJ-100/200	50	ジェイ・エア IBEXエアラインズ
	CRJ-700	70	IBEXエアラインズ
エンブラエル (ブラジル)	E170	76	ジェイ・エア フジドリームエアラインズ
	E175	84	フジドリームエアラインズ

※MRJ(Mitsubishi Regional Jet)...MRJ70(78席)・MRJ90(92席)、2013年に初飛行予定 (※いずれも三菱航空機株式会社発表より)

リージョナルジェット機の特長 「他機材との比較」

- ◆ジェット機と比較して遜色ない性能(スピード、高度制限)でありながら、経済面で優れている。
- ◆ターボプロップ機と比較し、同規模の供給座席数でありながら性能面で優れている。

カテゴリー	機種	座席数	地上滞在時間 (最短)	ブロックタイム(所要時間)に影響	
				飛行速度 (マッハ)	高度制限
ジェット機	767-300	264席	40分	0.80	43,100フィート
	737-800	165席	35分	0.78	37,000フィート
リージョナルジェット機	E170	76席	25分	0.78	41,000フィート
ターボプロップ機	Q400	74席	25分	0.56	25,000フィート

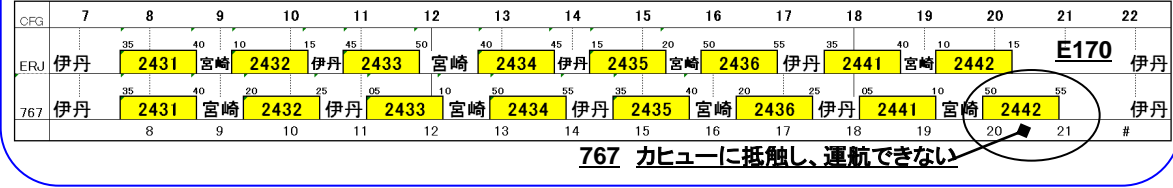
運航便数に影響

ブロックタイム(所要時間)に影響

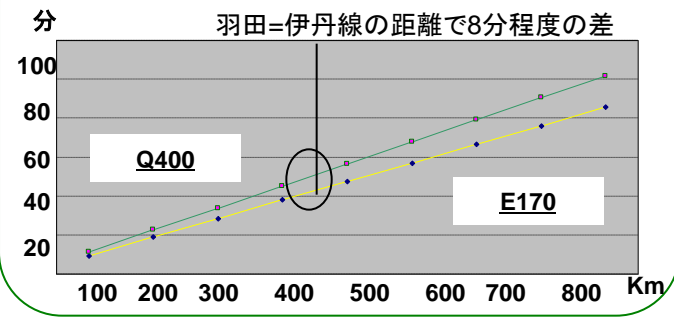
※座席数、地上停留時間は、JALグループ国内線の標準的な値
 ※飛行速度、必要滑走路長は、国土交通省航空局監修「数字で見る航空(2011)」より
 ※高度制限は、JAL、JAIR及びJACのAircraft Operating Manualで規定している数値

【短い地上滞在時間】

地上滞在時間が短いことから、素早く折り返すことができ、多くの便数を運航することができる。

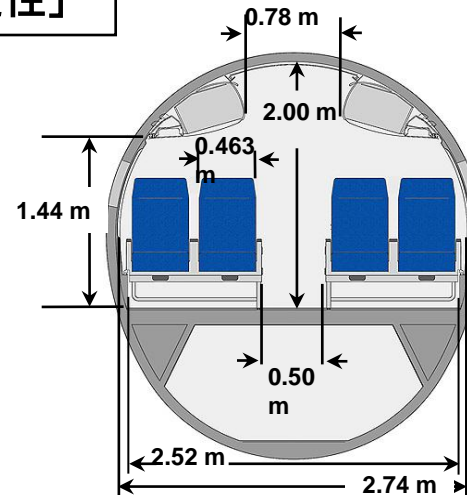


【所要時間の短縮】

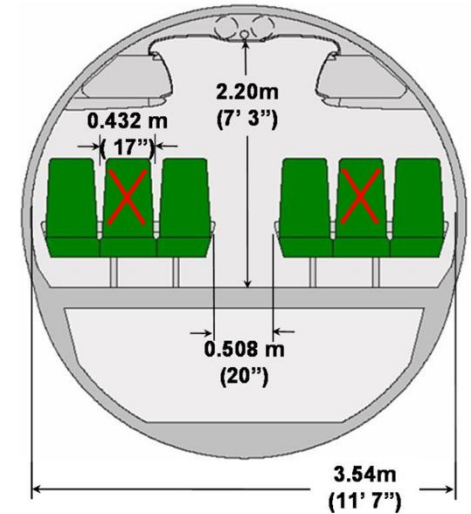


リージョナルジェット機はジェット機とターボプロップ機の双方の良さを兼ねそろえ、ジェット機なみの所要時間と、ターボプロップ機なみの短い地上滞在時間によって、効率よく機材を活用することができ、より多くの便数を運航することができる。

リージョナルジェット機の特長 「客室快適性」



エンブラエル170



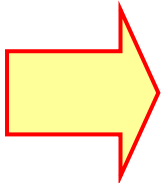
ボーイング737

- ◆真円でなく大小2つの円を上下に重ねた断面(ダブルバブル構造)により、座席幅、通路幅、天井高、足元幅が大きくとれ、737型機と遜色のない機内スペースを実現。
- ◆座席配置を横2列+2列として全てのお客様が、窓側か通路側の座席をご利用可能。

リージョナルジェット機はジェット機と遜色ない性能と客室快適性をもち、利便性・快適性が高い機材である。一方で、ターボプロップ機なみの大きさであることから需給適合を図りやすく、国内線ネットワークの拡充につなげることができる。

【多頻度小型化】

リージョナルジェット機(RJ機)を活用して、以下の路線の増便を行った。

増便前			増便後(2012年9月)	
伊丹/青森	小型機②便 L/F 70.8%		RJ機③便 L/F 80.3%	
羽田/南紀白浜	小型機②便 L/F 43.6%		RJ機③便 L/F 67.3%	
札幌/青森	小型機②便 L/F 52.7%		RJ機④便 L/F 72.4%	
札幌/花巻	小型機②便 L/F 63.1%		RJ機④便 L/F 77.7%	
札幌/秋田	小型機②便 L/F 43.7%		RJ機③便 L/F 73.0%	

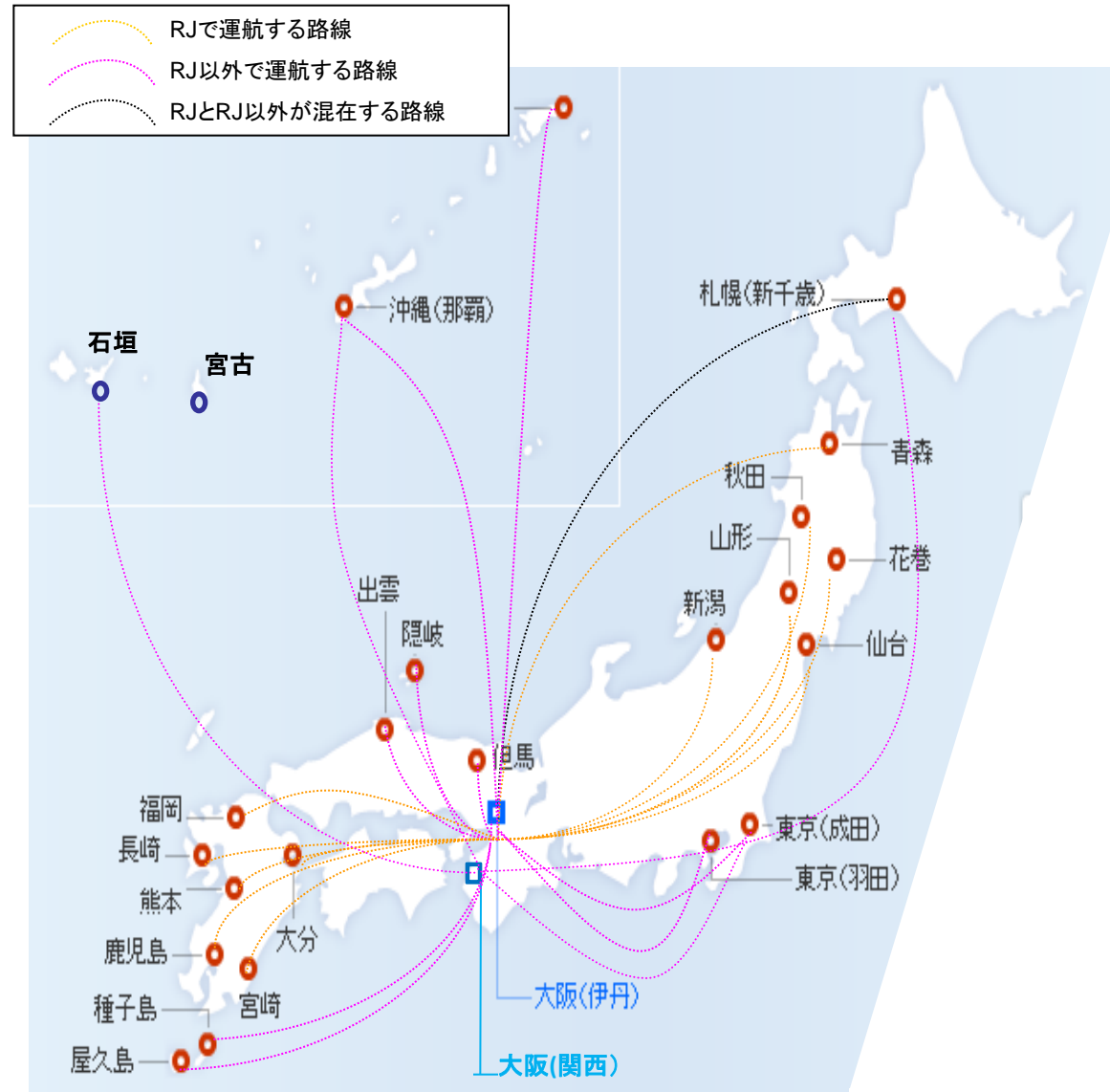
【新規開設】

福岡/花巻線 2012年3月25日開設 RJ機①便

新潟/札幌線 2012年7月13日開設 RJ機②便 ※いずれも適合機材が無く運休となった路線をリージョナルジェット機を活用して再開

リージョナルジェット機を活用することによって、お客さまに対する「多頻度運航による旅客利便の向上」、事業者に対する「搭乗率向上による収益性の向上」を実現できる。また、需給に適合しやすいため、ネットワークの拡大に繋げることができる。

	関空	伊丹(うち、RJ)
羽田	2	15
成田		2
札幌	4	2 (1)
那覇	5	1
福岡		2 (2)
青森		3 (3)
秋田		3 (3)
新潟		3 (3)
山形		3 (3)
花巻		3 (3)
仙台		6 (6)
但馬		2
隠岐		1
出雲		6
長崎		3 (3)
大分		2 (2)
熊本		3 (3)
宮崎		5 (5)
鹿児島		7
奄美大島		1
屋久島		1
石垣島	1	
合計	10	74 (37)



【伊丹空港の発着枠を取巻く状況】

➤ 関西国際空港・大阪国際空港運営協議会(2012年6月22日)


『従来のプロペラ機枠の低騒音機枠への転換に当たっては、(中略)段階的に進めるものとする』



➤ 新関西国際空港株式会社 経営戦略(2012年7月13日)

『(伊丹空港)プロペラ枠の段階的見直しによる有効活用』

伊丹空港発着枠(1日あたり、片道)		
	ジェット	200
ジェット以外	RJ枠(CRJ100/200のみ)	30
	プロペラ枠	140
	合計	370


 低騒音機枠に開放

JALグループは、プロペラ機枠が低騒音機に開放されれば、リージョナルジェット機を活用し、速やかに路線開設・増便を行い、国内線ネットワークの更なる拡充を図りたいと考えている。

ご清聴、誠にありがとうございます。